

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
高2	普通科（大学進学）	数学	数学Ⅱ	4	必修

教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）
その他の教材	テーマ数学Ⅱ＋B（数研出版）

目標	社会生活における人との関わりの中で、数学における基本的な概念や、原理・法則は重要な役割を持つものとして理解させ、数学に対する興味・関心を高めると共に、数学的な見方や考え方のよさを認識し、積極的に活用する態度を育てる。
学習のねらい	式と証明・高次方程式・図形と方程式の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てる。三角関数については、多くの自然現象との関連であることを知り、関数概念の充実を図る。 又、微分・積分については、数学の各分野にとどまらず、物理学を初め、自然科学一般の研究に利用されていることを知り、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
定期考査	中間考査・期末考査ともに実施（年5回）
評価の観点 および 評価の方法	学期評価 中間テスト期末テスト合わせて8割程度。平常点2割程度。 学年評価 学期評価を総計して3で割ったもの。 平常点 ・豆テスト ・長期休暇中の課題提出、実力テスト。 ・授業態度
履修上の注意	・教科書、ノート、テーマノートは必ず授業に持参すること。 ・ノートのとり方を工夫し、口頭で言ったことで必要だと思うものを、自分の判断で記せるように。

桜の聖母学院中学校・高等学校 H29 年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学 期	4 月	第1章 式と証明 不等式の証明	
		第2章 複素数と方程式 複素数とその計算	
	5 月	2次方程式の解 高次方程式	【一学期中間考査】
	6 月	第3章 図形と方程式 点と直線	【一学期末考査】
7 月	円 軌跡と領域		
夏季休業	1学期にやった内容での復習プリントを課題とする。		
2 学 期	9 月	第4章 三角関数 三角関数	
	10 月	第5章 加法定理 指数関数と対数関数 指数関数	【二学期中間考査】
	11 月	対数関数	【二学期末考査】
	12 月	第6章 微分と積分 微分係数と導関数	
冬季休業	1・2学期にやった内容の復習を課題とする。		
3 学 期	1 月	関数の値の変化	
	2 月	積分法	【学年末考査】
	3 月	積分法	
春季休業	必要に応じて課題を実施。		